

## 第133期技術講習所開講式が開催されました

第133期技術講習所開講式が5月9日（木）9：00より行なわれました。

内藤教育委員長より開講の挨拶があり、2級ガソリン課程13名、3級自動車ガソリンエンジン課程33名、自動車車体課程9名、計55名が9月までの20日間にわたる自動車整備技能登録試験実技免除講習を受講することになりました。55名全員が本講習を無事修了出来るよう、お互いに努力していきたいと思います。

また、講習生を送り出している事業場につきましては、講習受講に対するご協力をお願いいたします。



## = 業界情報 =

### 全国の整備相談所に寄せられた整備相談事例 Vol.89

【内容】 2万kmでトランスミッションオイルを交換された

- ・ 車名：乗用車      ・ 登録年月：平成24年      ・ 走行距離：約38,000km
- ・ 相談日    平成30年10月18日

新車で購入。初回車検時、ディーラーでトランスミッションオイルを交換。走行距離約1万8千km。今回、ミッションオイルの警告灯が表示されたのでディーラーに確認すると、ミッションオイルの交換時期という事で、ディーラーにて今回もオイル交換を実施。請求金額は1万8千円と言われたが、ネットで他を調べても高すぎる。

メンテナンスノートを見ると、メーカー推奨は4万km毎交換となっていた。前回車検時にリセットをし忘れたのはディーラーも認めたが、2万km毎に交換するものなのかとディーラーに確認すると、メーカーは4万km毎の交換を推奨しているが、その店舗では2万km毎を勧めているとのこと。技術的に2万km毎に交換が必要なのか？

【対応】

相談者は金額が高い事と過剰整備をされたと思い、不信感を抱いている様子。金額については関与できないが、工賃が事業場によって違う事は説明。オイル交換については、相談者に交換をする・しないの選択肢はあったのではないかとと思うが、相談者はなかったと言う。機械的な話をすると、早めに交換する事でメリットはあるが、デメリットは少ないと説明。その交換頻度をあげることで、費用がかかるデメリットがあると説明すると、相談者は「わかりました」という事で、相談終了。

## 『働き方改革』研修会について

**働き方改革**は、「少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少」という我が国の構造的な問題に加え、「育児や介護との両立など、働き方への多様化」と働く個々のワーク・ライフ・バランスの改善や生産性の向上による長時間労働の是正等の諸問題を解決するために必要な改革です。

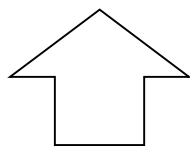
この課題の解決のため、働く方の置かれた個々の事情に応じ、多様な働き方を選択できる社会を実現し、働く方一人ひとりがより良い将来の展望を持てるようにすることを目的としています。

平成30年6月29日に「働き方改革関連法案」が可決・成立し、平成31年4月1日以降、多法令にわたり順次施行していますが、「働き方改革」の内容について理解を深め、取り組みを進めるため研修会を開催いたします。皆様方のご参加をお待ちしております。

1. 日 時 6月24日（月） 16：00

2. 会 場 （一社）山梨県自動車整備振興会 大講堂

3. 講 師 雨宮労務管理事務所長 雨宮隆浩 社会保険労務士



FAX 055-263-4420

（一社）山梨県自動車整備振興会あて

## 『働き方改革』研修会 参加票

認証番号	8 -	事業場名	
参加者名			

## 指定協全体会議の開催について

指定整備事業協議会全体会議が下記により開催されます。当日は、多くの方のご出席をよろしくお願いいたします。

1. 日 時        6月24日（月） 14:00
2. 場 所        （一社）山梨県自動車整備振興会    大講堂
3. 全体会議    （1）平成30年度事業報告の承認について  
                  （2）平成30年度決算報告の承認について  
                  監査報告  
                  （3）報告事項（任期满了に伴う役員改選について）  
                  （4）令和元年度事業計画（案）の承認について  
                  （5）令和元年度収支予算（案）の承認について  
                  （6）その他

## 指定協研修会の開催について

指定整備事業協議会研修会が下記により開催されます。当日は、多くの方のご出席をよろしくお願いいたします。

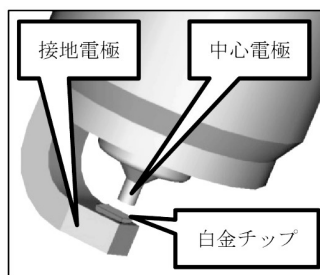
1. 日 時        6月24日（月） 15:00
2. 場 所        （一社）山梨県自動車整備振興会    大講堂
3. 講 師        関東運輸局山梨運輸支局    市川陸運技術専門官  
                  関東運輸局山梨運輸支局    濱口整備部門事業担当官
4. 内 容        指定整備事業の公正な業務運営の徹底について

## 点火プラグの点検について スズキ株式会社

市場において、K6Aエンジンの点火プラグの点検不足から、エンジン不調や、イグニッションコイルの故障、エンスト等の事例がありました。

点火プラグの点検を怠ると、プラグギャップが広がることから点火プラグの火が飛ばずに失火してしまう場合や、イグニッションコイル等の故障につながる可能性がありますので、以下に示すよう、プラグの種類等確認の上、点検の実施をお願いいたします。

		ニッケルプラグ	片イリジウムプラグ	長寿命イリジウムプラグ
電極の材質	中心電極	ニッケル	イリジウム	イリジウム
	接地電極	ニッケル	ニッケル	白金チップ
点検、交換時期		1年毎に点検	1年毎に点検	車両や生産時期により異なりますが、2年（初回は3年）または4万km毎に交換あるいは、6万km毎に交換。



### ■点検方法

取り外したスパークプラグについて次の項目を点検してください。

- 1) 電極の汚れ、損傷・絶縁碍子の損傷・カーボンの付着
- 2) ワイヤタイプのプラグギャップゲージを使用して、プラグギャップ“a”を点検する。  
プラグギャップ基準値“a”：0.7～0.8mm ※シックネスゲージを使用しないこと（電極を傷つけるため）

点検の結果、異常がある場合は、

- ニッケルプラグ：清掃、調整又は交換する。
- 片イリジウムプラグ、長寿命イリジウムプラグ：交換する。（清掃、調整は行わない）

